

# 調べ方、学び方を学習して、 身近な地域を生徒自らが学ぶ指導と工夫

～地域の歴史屏風「一目でわかる、  
ザ・ワイド、精華大百科」の作成～

京都府精華町立精華西中学校 河原勝彦

### 1 はじめに

本校には、2学期前期に文化発表会という行事がある。全校生徒が17のコースを個人選択し、一つの学習活動に13日間（2007年度は10月5日～24日）、取り組む。その活動の中には、学年劇や創作ダンスなどがある。私は「地域の歴史」を担当し、生徒が住む精華町の歴史と現状の学習の指導に取り組んだ。身近な地域を題材に、調べ方や学び方の学習を中心にすえ、自らが学ぶことを指導し、日ごろ時間をかけて取り組めない思考力・表現力・読解力を育成する習得、活用、探求の学習を実践することができた。「地域の歴史」に取り組んだ生徒は1～3学年合計30名である。

### 2 本校の実態（2007年度）

本校は、京都府南部、相楽郡の南西端に位置し、関西学術研究都市地区の中にある。開校11年目を迎え、17学級（障害児学級2を含む）で生徒数535名、教職員数33名の中規模校である。

教育目標を「一人ひとりが持つ可能性を最大限に開発し、生涯にわたる学習の基礎を培い、確かな見通しを持って、主体的に生き抜く力を育む」とし、学習指導はもとより、学校・学年行事のほか、職場体験や大学訪問、福祉

体験など、学年独自の体験的・自治的な取り組みを毎月1度は実施している。

校区の約90%は新興住宅地で每学期数人の転入生徒がいる。周囲には自然が多く残り、「私のしごと館」や「国立国会図書館関西館」などがあり、学習環境は良好である。

### 3 学習内容とテーマの設定について

精華町の歴史や現状を十分に知らない者が多いが、生徒たちが実地や書物、文献で調査し、調べまとめたことを書き、地図中に史跡や施設を記し説明した。それを屏風絵にして、地域（精華町）の歴史を簡潔に一目でわかるようにした。そのことで、通常の社会科の授業で十分に組み組めない、生徒の読解力・表現力・思考力を育成し、調べ方・学び方の指導を行い、知識の習得、活用、探求の学習を進めた。

### 4 指導目標

ア 精華町の施設や史跡などの調査を通して、歴史屏風を作成する中で、文化を創造する能力や態度を身につけられている。[社会的事象への関心・意欲・態度]

イ 精華町に関する多くの書物や資料、町広報「華創」の「精華検定」を参考にし、施設や史跡の説明文を作成できる。[資料活用の

技能・表現]

ウ 歴史屏風を作成する中で、精華町の歴史と現状の中の社会的な課題を考えられる。

[社会的な思考・判断]

エ 精華町の施設や史跡などを調査し、歴史や現状を知り、理解できる。[社会的な事象について知識・理解]

5 指導計画

時	指導内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価の方法)
1	活動計画の作成	活動計画を理解し、活動目標・作成内容をアンケートで、考える。	活動計画を考えたり、アンケートを行うことで、活動の意義を理解する。	文化を創造する態度が身につけられている。 【関心・意欲・態度】 観察
2	活動目標の決定と役割分担	活動目標をもとに調査の役割分担し活動を開始する。	役割分担を行うことで、各自が興味・関心のある事項を選び、取り組む。	文化を創造する意欲が見られる。 【関心・意欲・態度】(資料1) 観察
4	精華町に関する多くの書物や資料、町広報「華朝」の「精華検定」による調べ学習	自分の調査の役割分担を、書物や文献、資料をもとに調べ、まとめる。	誰でも理解できるように説明文を書けるように調べる。	資料を参考にし、施設や史跡の説明文が作成できる。 【資料活用】の技能・表現 (資料2) 観察
6	コンピュータ(インターネット)による調べ学習	前時で調べた内容を再考しさらに深化させる。	前時の説明文の内容を点検しながら、事実と一致したものにする。	情報機器を利用して、説明文の内容を深化できる。 【資料活用】の技能・表現 観察
8	実地調査による調べ学習	実地に調査すること、前時の内容をさらに再考する。	前時の説明文の内容を確認しながら、撮った写真などを利用して説明文を仕上げる。	実地調査により、説明文の内容を明確化できる。 【資料活用】の技能・表現 観察
10	資料3			
11	説明文の完成	3つの調査により、推敲を重ね、簡潔でわかりやすい説明文を作成し、教師の点検を受け、清書する。	説明文を再点検し、誰でも理解しやすい簡潔な内容を書く。	説明文を仕上げることで、精華町の歴史や現状を知り、社会的な課題が考えられる。 【思考・判断】(資料3) 観察
14	屏風の作成	屏風の設計図を作り、屏風を完成させる。	安全に留意し、設計図をもとに作成する。	歴史屏風を作成する中で、文化を創造する能力や態度が身につけられている。 【関心・意欲・態度】 観察
18	屏風の完成	屏風中の精華町の地図で史跡や施設の位置を確認し写真、説明文を配置し、貼る。	誰でも一目で分かるように説明文や写真の割付けを行う。	精華町の施設や史跡などを調査し、歴史や現状を知り、理解できる。 【思考・判断】
20	まとめと事後指導	活動のまとめ。感想を書き、自己評価を行う。また、相互評価を行う。	活動の感想や総括で自らの成果と課題を見つけ、成長を確かめる。	歴史屏風の作成後、文化を創造する能力や態度が身につけられた。 【関心・意欲・態度】 まとめ用紙(自己評価相互評価)

資料1(部分メンバーの名前は割愛)

平成19年度 文化発表

## 地域(精華町)の歴史

年	組	番	氏名
---	---	---	----

(1) メンバー確認

---

(2) 調査活動

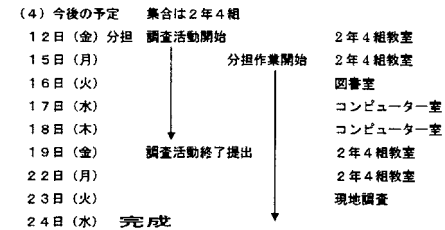
ア 別紙に以下の3の1の史跡や施設、文化などを各自下書きし調べ、清書の後良い作品を採用し屏風に貼る。

下書き→(採用)→清書→屏風にはる

イ 2年4組教室で調べるもの、図書室で調べるもの、コンピューター室で調べるものをあらかじめ分けておく。

ウ 各自、写真をとりにいく。

- (3) 作業分担
- ① 屏風制作係 (4人)  
(斎藤)(渡邊)(中川)(岡田)  
ベニヤ板裏面4辺枠の角材うち一角材の駒付け→ベニヤ板の接着
  - ② 屏風の表面全体に横造紙を貼る係 (5人)  
(小笠原)(山内)(小西)(佐藤)
  - ③ 地図下書き係 (4人)  
(亀田)(大川)(岩前)(桑田)  
おもしろい美しい地図下書きの工夫 色の配色  
施設や史跡、文化などの位置付け 文字の位置の確認
  - ④ 写真撮影、写真貼り (3人)(清井)(清井)(直原)  
施設や史跡等の写真撮影および屏風に貼り付け
  - ⑤ 説明版の作成 (2人)(阿部)(本多)  
作成の目標、用途 困ったことなどの文を書き、提示する。
  - ⑥ 文字や調査したものを、その他の貼り付け (全員)



\* 現地調査 当日 13:55 西門 筆記用具

資料2

調査物名	国 鞍馬神社	1	5	名前
イラスト	<p>(内容 どんなものか) 寛弘5年(1018)平賀北野社が有力諸社 寄進されたといわれ、1768年焼失、1773年に 再建されたといわれ、現存のものは、神宮寺として 宝光寺と明王院があったといわれ、天保10年(1839) といわれる「宝光寺の一行書(栴檀)」がある。 明治6年に社名を「宝光寺」から「鞍馬神社」と改称 (裏面の紙からどのくらいか) JRで30分程度の徒歩30分ほどで歩くと 宝光寺がある。そのそばにあり。</p>			

資料3

施設・史跡名 国立国会図書館関西館 説明書

説明 600万冊という膨大な図書館資料の収蔵能力を持ち、21世紀の高度情報化社会における、情報需に的確に対応し、関西地域の大型情報提供施設として機能を実現している。

資料4 歴史屏風



6 生徒の自己評価と感想 (全員)

ア 自己評価

<全校のまとめ用紙から>

- A (できた) B (どちらでもない)  
C (できなかった)

(1) C T (カルチャータイム=総合的な学習→文化発表の時間) 各コースの生徒は発表までの計画をたて日々の活動に取り組みましたか。

- A 22人 (73%) B 5人 (17%)  
C 3人 (10%)

(2) コースメンバーは協力しながら進めることができましたか。

- A 24人 (80%) B 4人 (13%)  
C 2人 (7%)

<歴史屏風の独自の感想用紙から>

(1) (全体目標) みんな協力して良い作品ができるようにがんばれましたか。

- A 26人 (87%) B 4人 (13%)  
C 0人 (0%)

(2) (努力目標) たくさんのことをわかりやすく、楽しく読めるような展示物が作れましたか。

- A 28人 (93%) B 2人 (7%)  
C 0人 (0%)

(3) 精華町の施設や史跡などに興味・関心を持ち、歴史屏風やその内容の作成に積極的に取り組めた。

- A 23人 (77%) B 5人 (16%)  
C 2人 (7%)

(4) 精華町に関する資料や書物を参考にし、自分で施設や史跡の説明文を作成できた。

- A 21人 (70%) B 8人 (27%)  
C 1人 (3%)

(5) 歴史屏風を作成する中で、現在の精華町の歴史や現状の中の課題を考えられた。

- A 4人 (13%) B 14人 (47%)  
C 12人 (40%)

(6) 歴史屏風を作成する中で、現在の精華町の歴史や現状が分った。

- A 25人 (83%) B 3人 (10%)  
C 2人 (7%)

イ 生徒の感想 資料5 参照

資料5

文化発表「地域の歴史」生徒の感想

作成した生徒からの感想

- 地区の下書きは協力してできた。短い時間だったけど、とてもよい物に仕上がった。先生も面白かったので、とても楽しい「地域の歴史」だった。
- 面白かった。歴史が苦手だけど、「地域の歴史」は夢中になった。
- 「地域の歴史」は最初、「簡単だなあ」と思ったけど、意外に難しかった。
- 計画的に学習に取り組みよかった。リーダーは頼れる存在だった。
- 「みんなで協力する」という目標を達成できて良かった。楽しかった。だけど、何人かやっている時に周りが騒いでいて、とてもうるさかった。2年の数人が5組(隣の)教室で紙ボール野球をしていたこともあったけど、みんな楽しそうしてくれた。頼りない私だったけど、みんなついてきてくれた。3年になってもやりたい。
- 時間が空いてふざけてしまったのは良くなかった。けどそれ以外はしっかりできた。難しかったけど、調べていて調べているものが見つかった時はうれしかった。
- 最初はどんな物が出るのか心配だったけれど、きれいに出来たので良かったと思う。それに、今回の行事は良い経験にもなったので、作品がきれいに出来なくても良い経験というふうにとらわせたと思う。
- 展示までの作成活動はとても仲良く出来たし、最終的には、とてもよい物が出来て良かった。部活(動)をやらなかった自分は、1~2年生との交流はとても良かった。
- 僕は思っていたよりも良い作品が出来たと思います。遊んでいた時もあったけど、みんな一生懸命にやったら、良い作品が出来たと思います。でも、せっかく良い作品が出来たのに、あまり自立した発表が出来なかったのが残念でした。
- 最初はどんな物が出て、楽しくできるのかなあと思っていただけ、やっていくうちにだんだん楽しくなって来て、一番楽しかったのは、バスでいろいろいるところに行っただけ。地図はとても良い地図が出来たと思います。前に出て発表することは出来なかったけど、良い作品が出来て良かったです。
- 最初は何をすれば良いのかよく分からなくて、戸惑っていたけど、だんだん慣れていって、最終的にとても良い物が出来たので良かったと思う。1年生は作業が少なくて何もしない時もあったけど、やる時はしっかりやるのが出来たので良かった。だけど、屏風をあまり見ている人が多くなかったので少し残念だった。
- 短時間で作った作品にしては、よく出来たと思う。
- 例えば「若玉寺」とか、いろいろ本本にあったりして、探すのが難しかった。
- 情報もパンフレット、本などの資料があったので、意外にすぐ集まったので、結構、早く仕上がったので良かった。バスまで乗っているいろいろ行けて楽しかった。
- 結構、面白かった。仕事は少なかったけど、どれもやりがいがあったし、細かくて良い物が出来上がったと思う。

- 僕が書いた説明文が、新聞に載らなかったのは残念だったけど、精華町の歴史や文化を知ることが出来たので勉強になったし、興味を持つことが出来て良かった。
- 僕は「地域の歴史」の中で、「建武運安王」と「新緑神社」と「京都フラワーセンター」を調べました。僕はこれ調べて、精華町のことがより一層よくわかって、精華町が好きになりました。
- 地図の下書きが大変だった。協力して地図を作成することが出来た。バスでもっと行きたかった。
- 「春日神社」を見に行くと、とても面白かった。来年もまた、この「地域の歴史」で活動したい。
- 自分立てた目標は達成できた。自分の調べて書いた説明文は、屏風に貼ってもらえなかったが、自分達のオリジナルの良いものが出来たと思う。他の人も協力して出来たと思う。
- 下書きで「稲八裏城」「里麿寺」とかをした。調べたら、いろいろ分って面白かった。それに僕が調べたのが、どこかの資料みたいなに使われるかもしれないと思うとわくわくした。
- いろいろな地域を調べてみてよかったです。

歴史屏風を見た他の生徒からの感想

- 仲良くやっていたらいいので良かった。
- くわしく、うまく、きれいにまとめられていた。
- 自分も知らないようなことが知れて知識が増えました。
- 意外と知らないことがあった。 ○ 精華町のことがなんとなくわかった。
- 分らなかったことも、分りやすく出来ていたと思います。
- よく知らなかったのですが、このおかげで分かりました。
- 「よく調べたなぁ」と思いました。詳しく調べてたと思います。
- なんかもつやすごかった。
- なるほどと思いました。 ○ マップがうまくかった。
- 自分の住んでいる地域なのに知らないことがたくさんあってびっくりしました。
- 結構、細かくリサーチされていて面白かった。 ○ 屏風を作るってすごいと思った。
- 2週間という短い期間だったけど、良いのが出来たと思う。
- 「みんなで頑張って歴史を調べたんだなぁ」と思わせられました。
- 精華町の地名の由来がわかった。
- 地域のことをよく分った。知らない場所があった。
- 頑張ってまとめていた。 ○ かなり印象に残った。
- 地域の歴史に興味を持ちました。
- 大きな地図で説明していたのでわかりやすかった。
- 調べ学習の様子がよく分った。
- 「この辺にも歴史があるんだ」と思った。
- いろいろなことが分った。びっくりすることもあった。
- 知らないことばかりで驚いた。
- 説明のやり方が工夫できていた。
- 自分の住んでいる地域のことがよくわかって、よかったです。
- なんかいりいろ詳しく調べてすごかった！屏風みたいなんも、かわいかった。

ことを、丁寧に行う必要がある。

ウ 個人作業の進度に差があり、全体指導が計画どおりに進まず、十分でなかった。

エ この学習で、意欲を持った生徒の関心・意欲を継続させていくための今後の活動が必要である。

8 その他

ア 実地調査では、町教育委員会社会教育課生涯学習課にお世話になった。

イ 参考書物では、町立図書館や町総務部企画調整課企画係に協力をしてもらった。

ウ 資料には、町広報「華創」の「精華検定」を参考にさせてもらい、町総務部企画調整課広報係の方から助言をいただいた。

エ 歴史屏風は、町広報12月号（資料6）に掲載され、2007年11月30日から12月29日まで、町立図書館で展示させていただいた。

資料6 精華町広報「華創」から

7 成果と課題

<成果>

ア 生徒は意欲的に取り組み、生徒の全体目標、努力目標や指導目標をほぼ達成できた。

イ 全員が協力して、各自が能力を発揮し、限られた時間と予算のなか、見栄えのある作品ができた。

ウ 作品を学校内外に発表することで、生徒の今後の学習の励みになった。

エ 作品を作成することで、生徒が住む精華町の歴史や現状を理解でき関心が高まった。

<課題>

ア 参考の書物や文献・資料、インターネットをもとに、調べる内容を探し出すのに時間がかかった。

イ 調べた内容を、まとめさせる作業をする

